

□□ No1 タイ株初心者編です ■■

タイの政治のニュースになります。

8月は憲法草案が選挙で認められて、プミポン国王も承認し、
タイ国内で民主的なプロセスの下で
タイ国下院議員を選ぶ、下院総選挙の投票日を12月23日とすることを発表しました。

タイ国立ラムカムヘン大学が
8月実施した次期首相候補に関する世論調査では
前野党・民主党のアピシット党首が最も高い評価を得ています。
世論の予想ではほぼこのアピシット氏が2008年のタイの首相
となる可能性が高いとしています。

一方でタクシン前首相が率いていたタイ愛国党(タイ・ラック・タイ)TRTは
どうなったのかと言うと、
5月30日の裁判所の決定によりタクシン氏、ソムキット氏、スリヤ氏など
旧タイ愛国党大物政治家の参政権が5年間停止されました。

結果として旧党員500名以上がこの選挙には参加できないことから、
極小政党だった人民の力党(パラン・プラチャーチョン党:PPP)へ
300名余りが大挙移籍を決定しました。

これは事実上の乗っ取りとされていて、
一度政界を引退していたサマック氏を党首に担ぎ、
現在の軍事政権・来年主力政党になると見られている
民主党との対決色を強めています。

このパランプラチャーチョン(人民の力党)は
議員ゼロの零細政党でしたので、
実質タイ愛国党グループが乗っ取ってしまった形です。
こういうやり方は驚きです。

次号も面白い情報を出来るだけ伝えていけるよう
頑張ります。

□□ No2 タイ株上級者編です ■■

過去のタイ株関連メルマガであまり触れられてなかったコーナーを作りました。

●● 020 BHです。 ○○
タイでの高級私立病院大手で医療技術が高いことで有名な企業です。

バムルンラード・ホスピタル(BH)は

バンコク市内スクンビット地区に位置していて、
550以上の病床、170の検査室、33の専門施設、
600人を超える医療技術者を常備させています。
さらには通訳者も20カ国以上。

医療技術レベルでもトップクラスであり、その知名度は高く、
アラブ中東国、インドからも患者が訪れます。
1980年に設立され1989年に上場しています。
バンコク銀行・ソーポンパニット財閥資本、
アラブ首長国連邦の投資会社イスティマール、
シンガポール政府系投資会社テマセクが入ります。

高級私立病院大手バムルンロード・ホスピタル
(BH)の2006年決算内容では

2006年の売上高が05年比16.0%増の78億9500万バーツ。
純利益では05年比4.1%増の10億9500万バーツでした。

本年度2007年度も増収増益の予想が見込まれています。
BHはフィリピン、UAE、中国でも病院事業に
進出していて、さらにその事業の規模を拡大していく計画を
立てています。

管理人のコメント

バムルンロードの年1回開催される、
インターナショナルフェアへ9月行って来ました。
欧米系の方が非常に多く、病院内は様々な人種の方が大勢います。
日本人向けに定期的に相談会、セミナーなども開催されていて
外国人患者向けのマーケティング戦略も巧みです。

リスクとして2007年度は
年未年始に起きた連続爆発事件を受けて、外国人患者の減少が懸念されていました。
タイへ訪問して治安上の不安が増大するものと見られていました。
(しかし結局は上半期の数字を見てもあまり影響がなかったもようです。)

そしてバーツ高がマイナス要因になると見られていますが
外国人患者数は増加しています。

□□ No3 タイ国内ニュース編です ■■
最近のタイ経済のコメントを書いてくださいと御依頼がありまして
いろいろと考えてしまいました。

データ上見るとタイの経済はどうやら不景気と言うらしいのですが、日本が好景気のはずなのに、格差社会と呼ばれたり、どうも景気を実感できない人が多いのとは逆に、タイはどうも不景気ではないような感覚です。

大型高級ショッピングモールのサイアム・パラゴン然り、世界の時計展での売上規模を見たり、ステートタワーでのパノラマの夜景を感じるにタイは(バンコク限定かもしれませんが)豊かになっています。(詳しくはブログをご覧ください。)

一般のタイの人が日本で食べる金額と同じくらいの日本料理を列を成してまで食べたいともう毎日のように混雑しています。(日本食レストランは大戸屋、FUJI レストラン、8 番ラーメン、OISHI などなどたくさんあります。日本語フリーペーパーにはすでに 200 社以上の日本食料理のお店が広告を出しています。)

タイの人は消費行動意欲が高い気がします。日本は食以外にもお金を使うことがたくさんあります。趣味、習い事、モノ、サービス、健康、保険などなど・・・。しかしタイではまだ選択肢が少ないこともあって食へ向かう方向がまだ高いようです。

これは上場企業とはあまり関係ない話になってしまうので、書けなかったのですが・・・。そして日本は不景気だと言われるとお金を使わず貯蓄へ向かいます。「貯蓄こそ美德だ」と言われる意識が多くの人に残っているためです。

しかしその利率は手数料で吹っ飛びます。利下げしても利下げしても貯蓄へ向かうので、景気回復へ向かえないのです。(通常金融緩和政策を実施すると利子率が低下することで民間投資・消費活動が増加します)

まあタイのリスクは政治と言う面もあり、年末くらいまで様子見と言うスタンスの方がタイ国内、海外と多いようです。じっくり構えつつ、購入したい銘柄を選定できれば良いと考えています。

そして豊かになると人はマズローで言う認知的欲求段階に走ります。最近 DHC のコマーシャルがタイで盛んです。

DHC は日本ではコンビニなどに置いてあり、
安いイメージでも品質の良いというイメージなのですが、
タイでは日本製品＝高級品なので、
タイではあっという間に高級ブランドへ早変わりです。

これは大戸屋でも当てはまります。
大戸屋は日本で「高級料理です！」と言ってもうなずく方は誰一人いないと思いますが、
タイで「高級料理ですよね？」と聞けば皆うなずきます。

化粧品の豊富さと、価格の高い食事と。

タイは面白い展開になりそうなのですが・・・。

□□ No4 追伸です ■■
9月と10月は日本におります(それぞれ1週間～10日間)
その大半はお仕事です。
会社を作ってみても仕事をこなすスピード・量はまったく
改善されません・・・。

ホームページもリニューアル中です！

<http://thaikabu.net/>

最後までお読みいただきましてありがとうございました！

阿部

●注意事項です

- 1：こちらのメールマガジンは客観的情報の提供を目的としており、
投資等の勧誘または推奨を目的としたものではないことをご了承ください。
- 2：タイの情報については細心の注意を払っておりますが、その内容に相違が
発生する場合もあり、保証するものではありません。
- 3：タイの株式売買決定は自己責任でお願い致します。

□□□□□□□■□□□□□□□□□□

阿部 俊之
TOSHIYUKI ABE

THAI STOCK INVESTOR
Managing Director
ASEAN JAPAN CONSULTING Co.,Ltd.
TEL 001-66-81441-2303 (Direct Call)

Issued by Toshiyuki Abe in 902/112 SVcity Tower1 Rama3Rd Yannawa Bangkok 10120
Under a 2 Research Company date, I Toshiyuki Abe wrote this overview research and comment in this report. As a result investors should be aware that the report & comment may conflict of interest that could affect the objectivity of this report.

Investor should consider this report as only a single factor in making their investment decision.

